

TOSHIBA Grand Concert 2013 the 32nd

東芝グランドコンサート 2013
ヤニック・ネゼ＝セガン指揮
ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団

庄司紗矢香 (ヴァイオリン)
ヤン・リシエツキ (ピアノ)



写真クレジット

上中央/ヤニック・ネゼ＝セガン: ©Hans van der Woerd

下/オーケストラ写真: ©Simon Van Bortel

上左/庄司紗矢香: ©Kishin Shinoyama

上右/ヤン・リシエツキ: ©Mathias Bothor/DG

プレスリリース

制作・招聘/フジテレビジョン

<http://www.t-gc.jp/>

【本件に関する報道のお問い合わせ】

(株)フューチャーPR&MEDIA 永田 全宏

電話: 090-7249-9383 FAX: 050-3737-7740 Email: nagata@fpm11.net

はじめに

次世代をリードする若き俊英指揮者ヤニック・ネゼ＝セガン率いる
圧倒的なエネルギーと革新的なアプローチで聴衆を魅了する
ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団、4年半ぶりの来日公演。

毎年海外の著名な指揮者・オーケストラを招聘し、豪華なソリストとの共演を実現する東芝グランドコンサートは、今回で32回目を迎えます。

2013年は、圧倒的なエネルギーと革新的なアプローチで聴衆を魅了するロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団を招聘いたします。指揮者は、当オーケストラの音楽監督としてあふれる才能とそのカリスマ性を持ち、世界のオーケストラから共演を希望され人気を誇る、今最も注目される若き俊英、ヤニック・ネゼ＝セガンが務めます。

ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団は、オランダで有数のオーケストラのひとつで、1970年代、ジャン・フルネ、エド・デ・ワールトといった指揮者のもとで世界的知名度を獲得。1995年には、ヴァレリー・ゲルギエフが音楽監督に着任し、再び最盛期を迎え、現在は後任としてヤニック・ネゼ＝セガンが、勢いそのままにオーケストラと共にツアーやレコーディングなどで数々の成功を収めています。



そして、ヤニック・ネゼ＝セガンは、ハーディング、ドゥダメルらとともに今後のクラシック音楽界をリードする指揮者として注目を集め、その溢れんばかりの才能は、ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団の演奏の高い評価からも知ることができます。

このコンビでは、2008年に来日公演を行い、日本の聴衆にも高く評価されました。

また、ソリストには、日本人ヴァイオリニストとして、常に世界のクラシック音楽の最前線で活躍し続けている庄司紗矢香（1/31、2/1、2、3）と17歳でありながら詩的で円熟した演奏で世界が賞賛するピアニスト、ヤン・リシエツキ（2/6、8、9、10）が登場します。

こうした若き音楽家たちの豊かで情熱的な演奏は、音楽愛好家だけでなく、生のクラシック演奏会に初めて足を運ぶ方にも存分に楽しめる内容となりますので、是非ともご期待下さい。

クラシック音楽の最前線で活躍する日本代表ヴァイオリニスト、庄司紗矢香、
世界が絶賛する17歳のピアニスト、ヤン・リシエツキ、
2人の若き注目ソリストを迎え、才能豊かで情熱的な演奏をお楽しみ下さい。

写真：(c) Hans van der Woerd

全国ツアー実施概要

【催事名称】 東芝グランドコンサート 2013
ヤニック・ネゼ＝セガン指揮 ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団

【日程・会場】

2013年

1月31日(木)	東京/サントリーホール	主催：フジテレビジョン
2月1日(金)	金沢/石川県立音楽堂コンサートホール	主催：石川テレビ放送/北陸中日新聞
2月2日(土)	兵庫/兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール	主催：関西テレビ放送/兵庫県/兵庫県立芸術文化センター
2月3日(日)	福岡/アクロス福岡シンフォニーホール	主催：テレビ西日本
2月6日(水)	広島/広島国際会議場フェニックスホール	主催：TSS テレビ新広島
2月8日(金)	名古屋/愛知県芸術劇場コンサートホール	主催：東海テレビ放送
2月9日(土)	仙台/東京エレクトロンホール宮城	主催：仙台放送/公益財団法人宮城県文化振興財団
2月10日(日)	東京/サントリーホール	主催：フジテレビジョン

【出演】 管 弦 楽 : ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団
Rotterdam Philharmonic Orchestra
指 揮 : ヤニック・ネゼ＝セガン
Yannick Nézet-Séguin
ソ リ ス ト : 庄司紗矢香 (ヴァイオリン) ※1/31、2/1、2、3公演
Sayaka Shoji
ヤン・リシエツキ (ピアノ) ※2/6、8、9、10公演
Jan Lisiecki

【演奏曲目】 <Aプログラム> 1/31、2/1、2、3公演
シューマン: 歌劇『ゲノフェーファ』序曲 Op.81
Schumann: "Genoveva" Overture Op.81
プロコフィエフ: ヴァイオリン協奏曲 第2番 ト短調 Op.63 <ヴァイオリン: 庄司紗矢香>
Prokofiev: Violin Concerto in G minor Op.63 Violin: Sayaka Shoji
ブラームス: 交響曲 第4番 ホ短調 Op.98
Brahms: Symphony No.4 in E minor Op.98

<Bプログラム> 2/6、8、9、10公演
ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 Op.58 <ピアノ: ヤン・リシエツキ>
Beethoven: Piano Concerto No.4 in G major Op.58 Piano: Jan Lisiecki
ラフマニノフ: 交響曲 第2番 ホ短調 Op.27
Rakhmaninov: Symphony No.2 in E minor Op.27

【オフィシャルHP】 <http://www.t-gc.jp/>

※チケット発売日、料金など、各地により異なります。※病気やその他都合により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。その場合、チケットの払い戻しや公演日の変更は承れません。予めご了承下さい。※未就学児童のご同伴やご入場、お子様を膝の上にお乗せになりながらの鑑賞はご遠慮下さい。※開演時間に遅れますと、休憩まで指定された場所にてお待ちになるか、指定された場所でのお立ち見のご案内となります。

【本件に関する報道のお問い合わせ】

(株)フューチャーPR&MEDIA 永田全宏

電話: 090-7249-9383 FAX: 050-3737-7740 Email: nagata@fpm11.net

首都圏公演概要

【日時・会場】 2013年1月31日(木) 開場/18:30 開演/19:00 サントリーホール
2013年2月10日(日) 開場/13:30 開演/14:00 サントリーホール

【出演】 管弦楽 : ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団
指揮 : ヤニック・ネゼ＝セガン
ソリスト : 庄司紗矢香 (ヴァイオリン) ※1/31 公演のみ
ヤン・リシエツキ (ピアノ) ※2/10 公演のみ

【演奏曲目】 <1/31 公演>

シューマン: 歌劇『ゲノフェーファ』序曲 Op.81
プロコフィエフ: ヴァイオリン協奏曲 第2番 ト短調 Op.63 <ヴァイオリン: 庄司紗矢香>
ブラームス: 交響曲 第4番 ホ短調 Op.98

<2/10 公演>

ベートーヴェン: ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 Op.58 <ピアノ: ヤン・リシエツキ>
ラフマニノフ: 交響曲 第2番 ホ短調 Op.27

【チケット料金】 S席 14,000円 A席 11,000円 B席 9,000円 C席 7,000円 D席 5,000円
(全席指定・税込)

【チケット発売日】 9月29日(土) 10:00~

【チケット発売窓口】

フジテレビダイレクト チケットぴあ	http://fujitvdirect.jp/ (PC 座席選択可能) TEL:0570-02-9999 (24時間 火・水 2:30-5:30を除く) ※1 (Pコード 174-418) http://pia.jp/t/t-gc2013/ (パソコン・携帯)
ローソンチケット	TEL:0570-000-407 (10:00-20:00) ※2 (Lコード 39002) http://l-tike.com/tgc
e+ (イープラス)	http://eplus.jp/tg/
楽天チケット	http://ticket.rakuten.co.jp/
CNプレイガイド	TEL:0570-08-9990 (10:00~18:00) ※2 http://cnplayguide.com/
東京文化会館チケットサービス	TEL:03-5685-0650 (10:00-19:00) ※2 http://www.t-bunka.jp/ticket/
サントリーホールチケットセンター	TEL:0570-55-0017 (10:00~18:00 休館日、年末年始は休業) ※2 http://www.suntory.co.jp/suntoryhall/

※1 音声自動応答 ※2 オペレーター対応

- オペレーター対応による電話受付については、1回のお申し込みで2公演同時にお求めになれます。音声自動応答やインターネットでのお申し込みの場合、システム上、複数公演や複数席種を選択できない場合がございます。
- 0570で始まる電話番号は、一部携帯電話・PHS・IP電話からはご利用になれません。
- 車イスをご使用のお客様のご予約は、フジテレビ・チケットインフォメーション (TEL:03-5500-5417/平日 10:00~13:00/14:00~18:00) のみにてお申し受けいたします。(A席料金となります)。

【主催・招聘・制作】 フジテレビジョン
【提供】 株式会社 東芝
【後援】 産経新聞社/オランダ王国大使館

【お問合せ】 フジテレビ・チケットインフォメーション
TEL:03-5500-5417 (平日 10:00~13:00/14:00~18:00)
東京都港区台場2-4-8 フジテレビジョン事業局内 (〒137-8088)
※フジテレビ・チケットインフォメーションでの一般チケットのお取り扱いはありません。

【オフィシャルHP】 <http://www.t-gc.jp/>

実施概要 《金沢公演》

- 【日時】 2013年2月1日（金） 開場/18:30 開演/19:00
- 【会場】 石川県立音楽堂コンサートホール
- 【出演】 管弦楽 : ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団
指揮 : ヤニック・ネゼ＝セガン
ソリスト : 庄司紗矢香（ヴァイオリン）
- 【演奏曲目】 シューマン : 歌劇『ゲノフェーファ』序曲 Op.81
プロコフィエフ : ヴァイオリン協奏曲 第2番 ト短調 Op.63 <ヴァイオリン:庄司紗矢香>
ブラームス : 交響曲 第4番 ホ短調 Op.98
- 【チケット料金】 S席 11,000円 A席 9,000円 B席 7,000円 C席 4,000円
(全席指定・税込)
- 【チケット発売日】 10月27日（土）10:00～
- 【チケット窓口】 音楽堂チケットボックス Tel:076-232-8632
香林坊大和PG Tel:076-220-1332
アピタ松任ティオ Tel:076-274-6711
vanvan上林店 Tel:076-246-8200
ディスクファン小松店 Tel:0761-24-4422
アスネットカウンター（富山） Tel:076-445-5511
チケットぴあ Tel:0570-02-9999※（Pコード：177-945）
<http://pia.jp/t/t-gc2013/>（パソコン・携帯）
ローソンチケット Tel:0570-084-005※（Lコード：52237）
<http://l-tike.com/tgc>
e+（イープラス） <http://eplus.jp/tg/>（パソコン・携帯）
エンタメスタイル <http://www.entame-style.jp>（パソコン・携帯）
- ※0570 で始まる電話番号は、一部携帯電話・PHS・IP電話からのご利用になれません。
■託児ルーム(有料) がございます。1/25（金）までに、Tel:076-267-6483 へお申込下さい。
- 【主催】 石川テレビ放送／北陸中日新聞
【共催】 (財)石川県音楽文化振興事業団
【提供】 株式会社 東芝
【後援】 石川県／石川県教育委員会／富山県／(公財)富山市民文化事業団／オランダ王国大使館
【招聘・制作】 フジテレビジョン
- 【お問合せ】 石川テレビ放送 事業部 Tel:076-267-6483（平日9:30～18:00）
<http://www.ishikawa-tv.com>
石川県金沢市観音堂町子 18 番地（〒920-0388）
- 【オフィシャルHP】 <http://www.t-gc.jp/>

実施概要 《兵庫公演》

- 【日 時】 2013年2月2日(土) 開場/15:15 開演/16:00
- 【会 場】 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール
- 【出 演】 管弦楽 : ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団
指揮 : ヤニック・ネゼ＝セガン
ソリスト : 庄司紗矢香 (ヴァイオリン)
- 【演奏曲目】 シューマン : 歌劇『ゲノフェーファ』序曲 Op.81
プロコフィエフ : ヴァイオリン協奏曲 第2番 ト短調 Op.63 <ヴァイオリン:庄司紗矢香>
ブラームス : 交響曲 第4番 ホ短調 Op.98
- 【チケット料金】 S席12,000円 A席10,000円 B席8,000円 C席6,000円
(全席指定・税込)
- 【チケット発売日】 10月6日(土) 10:00～
- 【チケット窓口】 チケットぴあ Tel:0570-02-9999※ (Pコード:178-665)
<http://pia.jp/t/t-gc2013/> (パソコン・携帯)
ローソンチケット Tel:0570-08-4005※ (Lコード:53650)
Tel:0570-00-0407※ (10:00～20:00) オペレーター対応
<http://l-tike.com/tgc>
イープラス <http://eplus.jp/tg/> (パソコン・携帯)
CN プレイガイド Tel:0570-08-9999※
阪神プレイガイド 店頭販売のみ
芸術文化センターチケットオフィス Tel:0798-68-0255 (10:00～17:00)
月曜休み・祝日の場合は翌日
<http://www.gcenter-hyogo.jp>
- ※0570で始まる電話番号は、一部携帯電話・PHS・IP電話からはご利用になれません。
- 【主 催】 関西テレビ放送／兵庫県／兵庫県立芸術文化センター
【提 供】 株式会社 東芝
【後 援】 産経新聞社／オランダ王国大使館
【招聘・制作】 フジテレビジョン
- 【お問合せ】 リバティ・コンサーツ Tel:06-7732-8771 (10:00～19:00)
- 【オフィシャルHP】 <http://www.t-gc.jp/>

実施概要《福岡公演》

- 【日時】 2013年2月3日(日) 開場/13:30 開演/14:00
- 【会場】 アクロス福岡シンフォニーホール
- 【出演】 管弦楽 : ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団
指揮 : ヤニック・ネゼ＝セガン
ソリスト : 庄司紗矢香 (ヴァイオリン)
- 【演奏曲目】 シューマン : 歌劇『ゲノフェーファ』序曲 Op.81
プロコフィエフ : ヴァイオリン協奏曲 第2番 ト短調 Op.63 <ヴァイオリン:庄司紗矢香>
ブラームス : 交響曲 第4番 ホ短調 Op.98
- 【チケット料金】 GS席 14,000円、S席 11,000円、A席 8,000円、てれびー席 5,000円
(全席指定・税込)
- 【チケット発売日】 9月25日(火) 10:00～
- 【チケット窓口】
- | | |
|--------------------------|---|
| テレビ西日本 事業部 | Tel:092-852-5507
http://www.tnc.co.jp/ |
| アクロス福岡チケットセンター
チケットぴあ | Tel:092-725-9112
Tel:0570-02-9999※ (Pコード:178-493)
http://pia.jp/t/t-gc2013/ (パソコン・携帯) |
| ローソンチケット | Tel:0570-084-008※ (Lコード:89395)
http://l-tike.com/tgc |
| キョードー西日本
e+ (イープラス) | Tel:092-714-0159
http://eplus.jp/tg/ (パソコン・携帯) |
- ※0570 で始まる電話番号は、一部携帯電話・PHS・IP電話からはご利用になれません。
■託児サービス(有料)ご希望の方は、Tel:0120-8000-29 (テノ、コーポレーション)へお申込下さい。
- 【主催】 テレビ西日本
【共催】 (公財)アクロス福岡
【提供】 株式会社 東芝
【後援】 福岡県/福岡市/福岡県教育委員会/福岡市教育委員会/(公財)福岡市文化芸術振興財団
オランダ王国大使館
- 【招聘・制作】 フジテレビジョン
- 【お問合せ】 テレビ西日本事業部 Tel:092-852-5507
福岡市早良区百道浜 2-3-2 (〒814-8555)
- 【オフィシャルHP】 <http://www.t-gc.jp/>

実施概要 《広島公演》

- 【日時】 2013年2月6日(水) 開場/18:30 開演/19:00
- 【会場】 広島国際会議場フェニックスホール
- 【出演】 管弦楽 : ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団
指揮 : ヤニック・ネゼ＝セガン
ソリスト : ヤン・リシエツキ (ピアノ)
- 【演奏曲目】 ベートーヴェン : ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 Op.58 <ピアノ:ヤン・リシエツキ>
ラフマニノフ : 交響曲 第2番 ホ短調 Op.27
- 【チケット料金】 S席 12,000円 A席 10,000円 B席 8,000円 C席 6,000円
(全席指定・税込) 学生席 4,000円 *学生席は当日指定(要学生証)
- 【チケット発売日】 11月4日(日) 10:00~
- 【チケット窓口】 デオデオ本店 店頭販売のみ
ヤマハ広島店 店頭販売のみ
福屋広島駅前店 店頭販売のみ
アルパーク天満屋 店頭販売のみ
ローソンチケット Tel:0570-084-006※(Lコード:62121)
http://l-tike.com/tgc
チケットぴあ Tel:0570-02-9999※(Pコード:178-293)
http://pia.jp/t/t-gc2013/ (パソコン・携帯)
- ※0570で始まる電話番号は、一部携帯電話・PHS・IP電話からはご利用になれません。
- 【主催】 TSS テレビ新広島
【提供】 株式会社 東芝
【後援】 オランダ王国大使館
【招聘・制作】 フジテレビジョン
- 【お問合せ】 TSS 事業部 Tel:082-253-1010
広島県広島市南出汐 2-3-19 (〒734-8585)
- 【オフィシャルHP】 <http://www.t-gc.jp/>

実施概要 《名古屋公演》

- 【日時】 2013年2月8日（金） 開場/18:15 開演/18:45
- 【会場】 愛知県芸術劇場コンサートホール
- 【出演】 管弦楽 : ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団
指揮 : ヤニック・ネゼ＝セガン
ソリスト : ヤン・リシエツキ（ピアノ）
- 【演奏曲目】 ベートーヴェン : ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 Op.58 <ピアノ:ヤン・リシエツキ>
ラフマニノフ : 交響曲 第2番 ホ短調 Op.27
- 【チケット料金】 S席 12,000円 A席 10,000円 B席 8,000円 C席 6,000円 D席 4,000円
(全席指定・税込)
- 【チケット発売日】 9月29日（土）10:00～
- 【チケット窓口】 東海テレビ チケットセンター TEL:052-951-9104 (平日 10:00～18:00)
東海テレビオンラインチケット <http://tokai-tv.com>
アイ・チケット TEL:0570-00-5310※
<http://clanago.com/i-ticket>
チケットぴあ TEL:0570-02-9999※ (Pコード: 178-549)
<http://pia.jp/t/t-gc2013/> (パソコン・携帯)
ローソンチケット TEL:0570-084-004※ (Lコード: 43105)
TEL:0570-000-407※ (オペレーター対応10:00～20:00)
<http://l-tike.com/tgc>
e+ (イープラス) <http://eplus.jp/tg/> (パソコン・携帯)
芸文プレイガイド TEL:052-972-0430
- ※0570 で始まる電話番号は、一部携帯電話・PHS・IP電話からはご利用になれません。
- 【主催】 東海テレビ放送
【提供】 株式会社 東芝
【後援】 オランダ王国大使館
【招聘・制作】 フジテレビジョン
- 【お問合せ】 東海テレビ放送 事業部 TEL:052-954-1107 (平日 10:00～18:00)
愛知県名古屋市東区東桜 1-14-27 (〒461-8501)
- 【オフィシャルHP】 <http://www.t-gc.jp/>

実施概要 《仙台公演》

- 【日時】 2013年2月9日（土） 開場/17:30 開演/18:00
- 【会場】 東京エレクトロンホール宮城
- 【出演】 管弦楽 : ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団
指揮 : ヤニック・ネゼ＝セガン
ソリスト : ヤン・リシエツキ（ピアノ）
- 【演奏曲目】 ベートーヴェン : ピアノ協奏曲 第4番 ト長調 Op.58 <ピアノ:ヤン・リシエツキ>
ラフマニノフ : 交響曲 第2番 ホ短調 Op.27
- 【チケット料金】 S席 12,000円、A席 9,000円、B席 6,000円
(全席指定・税込)
- 【チケット発売日】 10月27日（土）10:00～
- 【チケット窓口】
- | | |
|---------------|---|
| 藤崎 | 店頭販売 |
| 仙台三越 | 店頭販売 |
| イープラス | http://eplus.jp/tg/ (パソコン・携帯) |
| 東京エレクトロンホール宮城 | 店頭販売 |
| チケットぴあ | 0570-02-9999 (Pコード:178-623)
http://pia.jp/t/t-gc2013/ (パソコン・携帯) |
| ローソンチケット | 0570-084-002 (Lコード:27769)
0570-000-407 (オペレーター対応 10:00～20:00)
http://l-tike.com/tgc |
- ※0570で始まる電話番号は、一部携帯電話・PHS・IP電話からはご利用になれません。
- 【主催】 仙台放送、公益財団法人宮城県文化振興財団
- 【提供】 株式会社 東芝
- 【後援】 オランダ王国大使館
- 【招聘・制作】 フジテレビジョン
- 【お問合せ】 仙台放送 事業部 022-268-2174 (平日:9:30～17:30)
www.ox-tv.co.jp
- 【オフィシャルHP】 <http://www.t-gc.jp/>

ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団 (管弦楽)

Rotterdam Philharmonic Orchestra



1918年に設立。

本拠地は、世界的にも有名なオランダ・ロッテルダムの「デ・ドーレン」。

ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団は、ヨーロッパの最も傑出したオーケストラの一つであり、公演での圧倒的なエネルギーと、称賛される数々のレコーディング、そして革新的な観客へのアプローチから世界的にその名が知られるようになった。

1930年から首席指揮者を務めたエドゥアルド・フリプセのもと、オランダで有数のオーケストラのひとつに発展。1970年代、ジャン・フルネ、エド・デ・ワールトといった指揮者のもとで世界的知名度を得る。1995年には、ヴァレリー・ゲルギエフが音楽監督に着任。再び最盛期を迎え、現在は後任としてヤニック・ネゼ＝セガンが、勢いそのままにオーケストラと共にツアーやレコーディングなどで数々の成功を収めている。

レコーディングにおいては、1950年代のエドゥアルト・フリプセによる革新的なマーラー作品を始め、近年では国際的評価を受けているヤニック・ネゼ＝セガン指揮によるラヴェルのレコーディング等（EMI / ヴァージン・レーベルとBISなど）、多数称賛されている。2012年には、ヤニック・ネゼ＝セガンとの録音をドイツ・グラモフォン・レーベルからリリースする契約を締結。さらに、過去のレコーディングを再発売するため、オーケストラは独自のレーベルである<ロッテルダム・フィルハーモニー・ヴィンテージ・レコーディング>というレーベルを立ち上げた。

写真:(c) Simon Van Boxtel

ヤニック・ネゼ＝セガン（指揮）

Yannick Nézet-Séguin

1975年、カナダ・モントリオール生まれ。

2008年よりロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団の音楽監督を務めている。

5歳の時に初めてピアノのレッスンを受け、その後モントリオール音楽学校でピアノ、作曲、室内楽及びオーケストラの指揮を勉強した。同時期に、ニュージャージー州、プリンストンのウェストミンスター・クワイア・カレッジで合唱指揮の訓練も受けた。卒業後もカルロ・マリア・ジュリー二等の偉大な指揮者に師事した。

2000年にモントリオール・メトロポリタン管弦楽団の首席指揮者に任命され、同年、初のオペラ作品を指揮。現在も引き続きこの職に就いている。2004年には、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団と共演でヨーロッパデビューを果たす。翌2005年、ロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団と共演。2008/2009年のシーズンには、同楽団の音楽監督に任命された。

さらに、2008/2009年のシーズンからロンドン・フィルハーモニー管弦楽団の首席客演指揮者、2012/2013年のシーズンより、フィラデルフィア管弦楽団の音楽監督も務めている。客演指揮者として彼は世界中の一流オーケストラのほとんどと共演を果たしており、一流のオペラハウスでオペラ作品の指揮を経験している。

ヤニック・ネゼ＝セガンとロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団は、彼らの多才性をオペラからファミリー向けのショー、そして定期演奏会から地域のプロジェクトまでと、幅広い分野で見せている。これまでにロッテルダム・フィルハーモニー管弦楽団とは、ロンドン、パリ、ウィーン、ニューヨーク、トロント、東京、そして北京等の数々のツアーを行い、成功を収めてきた。

日本には、2008年6月、このコンビでの初来日公演以来、2回目。



プロフィール：2012年4月現在

写真：(c) Hans van der Woerd



1999年、パガニーニ国際ヴァイオリン・コンクールで史上最年少かつ日本人として初めて優勝を飾り、一躍注目を集める。

これまでに、原田幸一郎、海野義雄、ウート・ウーギ、リッカルド・ブレンゴーラ(室内楽)、シュロモ・ミンツ、ザハール・ブロン各氏に師事。2004年、ケルン音楽大学卒業し、ヨーロッパを拠点として活躍。ウラディーミル・アシュケナージ、サー・コリン・デイヴィス、シャルル・デュトワ、マリス・ヤンソンス、ロリン・マゼール、ズービン・メータ、アントニオ・パッパーノといった世界を代表する指揮者たちと共演を重ねる。

2010/2011年シーズン、ソリストとして、シドニー交響楽団(アシュケナージ指揮)、フィルハーモニア管弦楽団(マルッキ指揮)と演奏。ソウル・フィルハーモニー管弦楽団(チョン・ミョンフン指揮)日本ツアーに同行、ジャンルカ・カシオーリとのデュオ日本ツアーは大好評を博す。最近の活動としては、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス

管弦楽団、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団、NHK交響楽団、フランス放送フィルハーモニー管弦楽団、ローマ・サンタチェチーリア国立アカデミー管弦楽団、シンシナティ交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団とのコンサートに出演などがあげられる。

今シーズンのハイライトは、パーヴォ・ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団、大野和士率いる東京都交響楽団との共演など。またシドニー交響楽団(アシュケナージ指揮)、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー管弦楽団(ユーリ・テミルカーノフ指揮)両オーケストラによるツアーに同行、香港芸術祭出演、グラン・カナリア・フィルハーモニー管弦楽団との共演も予定している。来年以降、ファビオ・ルイーシ率いるウィーン交響楽団日本ツアー、再びカシオーリとデュオを組み、ベートーヴェンに焦点をあてた日本ツアーなどを予定している。

レコーディングにおいては、ドイツ・グラモフォンと専属契約を結んでおり、高い評価を得た2002年メータ指揮イスラエル・フィルとのパガニーニ、ショーソン、ワックスマンの曲によるデビュー。その後、ゴラン伴奏による、2001年秋のパリ・ルーブル美術館リサイタルのライブ録音と続くプロコフィエフとショスタコーヴィッチの曲集など多数リリースしている。最新録音は、ジャンルカ・カシオーリとのベートーヴェン・ソナタ集。2011年初旬には、ミラーレよりソロアルバム、バッハ&レーガー: 無伴奏ヴァイオリン作品集を発表する。

2004年ケルン音楽大学卒業以来、ヨーロッパを拠点として活躍中。1999年度都民文化栄誉章、2000年出光音楽賞、2009年度芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。

使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与された1729年製ストラディヴァリウス“レカミエ(Recamier)”である。



1995年、カナダ・カルガリー生まれ。

わずか9歳でオーケストラ・デビュー。以来、世界各地のオーケストラとの共演、室内楽、リサイタル活動を通じて、瞬く間にその名前は世界中で知られることとなった。

2008年、2009年と2年連続でワルシャワのショパンとそのヨーロッパ国際音楽祭に招かれ、ショパンの協奏曲第1番と第2番を演奏、聴衆そして評論家から絶賛を博す。公演はポーランド放送によりラジオ中継され、その内容を

収めたCDが、ポーランド国立ショパン協会の自主レーベル”ホワイト・シリーズ”のカタログ番号1番として2010年初頭に発売された。また、このデビューCDで2010年5月、ディアパゾン・ドール賞の受賞を果たす。

2010年の元旦には、ショパン生誕200年の記念すべき幕開けを、作曲家生誕の地で行った。続いてフランス・カンヌの国際音楽見本市「ミデム」クラシック・アワード・ガラでショパンのピアノ協奏曲第1番を演奏。5月にはソウル国際音楽祭のオープニングに招かれ、7月のカナダ建国記念日には、イギリス女王に捧げた演奏会を10万人の聴衆を前にオタワの国会議事堂前広場で行った。2011-12年シーズンには、パリ管弦楽団のシーズンオープニング公演に招かれ、パーヴォ・ヤルヴィと共演したほか、BBC交響楽団、ライブチヒ放送響、エーテポリ交響楽団などにデビュー。ヤニック・ネゼ=セガンと、グラン・モントリオール・メトロポリタン管弦楽団との共演も果たした。また夏のベルヴィエ音楽祭、ラジオフランスフェスティバル、ラ・ロック・ダンテロン国際ピアノ音楽祭、ショパンとそのヨーロッパ音楽祭にも登場。ベルリン、ブリュッセル、フランクフルト、グスタード、ハンブルク、リスボン、ウィーン、チューリッヒで、ヨーロッパリサイタルデビューを飾った。

2011年2月、15歳という若さでクラシックの名門レーベルであるドイツ・グラモフォンとの専属契約を締結したことが発表され、話題となった。

2008年には、ユニセフのカナダ国内大使（青年代表）に任命された。

その詩的で円熟した演奏を世界が賞賛するピアニストとして注目を集めている。

プロフィール：2012年3月現在

写真：(c) Mathias Bothor/ DG